

第48回 RIDCマンスリー研究セミナー

国民政府による国家統合と財政

スピーカー

岡山大学社会文化科学学域 准教授

佐藤 淳平

日時

2025年9月24日(水)

12:00～13:00

場所

オンライン開催

20世紀前半の中国財政史の研究では財政基盤の強い省に焦点をあて、中央政府と地方政府が財源を奪い合っており、その結果として各省の自立化が進展したというストーリーが描かれることが多い。しかし、1916年の袁世凱死去後に進展した各省の自立化は必ずしも定着しなかった。その要因として、この時期の地方分権的な政治構造には財政基盤が弱い省に対する補助金の減少や軍事費の増大による財政難といった負の側面もあったと考えられる。そこで本報告では、1926～28年の北伐前後の地方財政の状況と軍事費の動向について分析し、国民政府による国家統合が進んだ背景について明らかにしたい。

お申し込み先 <https://forms.gle/HwnHTsMMdHXas5Dh8>

お申し込み締め切り 9月23日 12:00

お問い合わせ先 文明動態学研究所 ridc@okayama-u.ac.jp



*オンライン開催のため、ご参加希望の方は事前申し込みをお願いします。折り返し、参加用URLをお送りします。